

仙人通信 135 貫ヶ岳(897 m)

貫ヶ岳は、山梨南部町の富士川の西沿いに聳え、高ドッキョウ・篠井山と同様、山梨100名山である。新清水ICから国道52号線の甲駿橋北詰を梅島に向かう県道を進み、中沢公民館前の広場に駐車し、焼山山頂から尾根伝いに貫ヶ岳をピストン、そして南にあるワサビノ岳(晴海展望台)をピストンする事にした。

軽トラックが通れる程の茶畑の道を10分程進むと、杉林となり右側の土手に貫ヶ岳を示す道標、そしてマムシとヒルに注意とある。ここから登山道の始まりである。

杉・檜の良く整備された林の中のV字状になった緩やかな登りだ。檜等の常緑樹で視界は利かないが、こぼれ日で明るいコースである。九十九折に20分程進むとV字状の溝から解放され緩やかなコースとなるも、植林された檜等の下木のヒサカキ・檜・ナニワズ・ヒイラギが視界を遮る。足元は泥岩・砂岩の凝灰岩が主体である。山体の東側には、根熊断層が走り、本山体を北の基点に興津へと広がる中河内累層と呼ばれている地層だ。公民館前の道標には山頂まで2時間半とあるが、山溪のガイドでは1時間35分とだいぶ異なり、気にしての登りだ。1時間ほどしても杉・檜の林から抜け出せず、これらの根の階段を踏む急な登りだ。1時間35分で、檜林の焼山の山頂に辿りつく。右に折れて貫ヶ岳の間の鞍部に向かう。溶けた雪が凍り滑るため、足元を確認しながら進む。

落葉樹の梢の間から、白い富士山とゴルフ場の芝生が見えるも、写真を撮れるレベルではない。鞍部からは又もや檜林となり何も見えない。焼山山頂から25分、公民館から2時間で貫ヶ岳山頂である。山頂周囲は10m程の広場であるも、富士山が梢越しに見える以外に展望はない。尾根道を焼山に戻り、ワサビノ岳に向かう。こちらのコースは、檜が少ない性であろうか、足元には5cm程の積雪だ。尾根の西側には十枚山・青笹山そして篠井山が梢越しに眺められるコースだ。こちらも25分程でベンチが置かれた展望台である。

正面に富士山・愛鷹山が、右手に浜石岳・円弧を描く駿河湾そして達磨山まで一望できた。眼下には、ゴルフ場と山梨100名山の白鳥山である。残念ながら西・北側は林の中で先に登った高ドッキョウや平治の段・青笹山等は望めない。焼山に戻り、公民館へと下山する

丁度4時間のコースを終えて、国道52号線からゴルフ場内を白鳥山森林公園の駐車場に車を進めの30分程で往復できる白鳥山山頂である。白鳥山は信玄公の時代の狼煙山で眺望に優れた山である。先程登った貫ヶ岳から、竜爪山地の八紘嶺まで、その上に真っ白な北岳や聖が、又御坂や長者ヶ岳・富士山、そして愛鷹の越前岳までの眺望である。眺められる一山一山に想いを馳せてノンビリと休憩、そして咲き始めた桜と大きく膨らんだミツマタの花芽に早春譜を感じた4時間半(19700歩)の山旅でした。(h 28.2.10)

貫ヶ岳全容



山頂



ワサビノ岳からの富士

